



平成23年3月期 第2四半期決算短信 [米国会計基準] (連結)

平成22年10月29日

上場会社名 株式会社 村田製作所 上場取引所 東証一部・大証一部
 コード番号 6981 URL http://www.murata.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村田 恒夫 TEL (075) 955 - 6525
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 小澤 芳郎 配当支払開始予定日 平成22年12月6日
 四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(注) 記載金額は百万円未満の端数を四捨五入して表示しております。

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績 (平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (注) 売上高、営業利益等における%表示は、対前年同四半期増減率であります。

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成23年3月期第2四半期	314,989	(23.2)	46,256	(658.3)	47,462	(512.3)	31,066	(555.0)
平成22年3月期第2四半期	255,595	(△15.9)	6,100	(△77.4)	7,751	(△73.0)	4,743	(△75.1)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
平成23年3月期第2四半期	144	74	144	74
平成22年3月期第2四半期	22	10	22	10

(注) 当社グループの「四半期純利益」は、米国の「財務会計基準審議会 (FASB) 会計基準書 (ASC) 810 (連結)」の「当社株主に帰属する四半期純利益」と同じ内容です。

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計 (純資産)	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
平成23年3月期第2四半期	963,010	812,661	812,661	84.4	3,786 35
平成22年3月期	928,790	800,857	800,857	86.2	3,731 34

(注) 株主資本、株主資本比率、1株当たり株主資本は、米国会計基準に基づき記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
平成22年3月期	-	35 00	-	35 00	70 00
平成23年3月期	-	50 00	-	-	-
平成23年3月期 (予想)	-	-	-	50 00	100 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(注) 売上高、営業利益等における%表示は、対前期増減率であります。

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	615,000	(15.9)	78,000	(191.8)	81,000	(133.7)	53,000	(114.1)	246	94

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他 (詳細は、【添付資料】8ページ「その他」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
 (注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有
 (注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無
 ② ①以外の変更 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)
 ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) 平成23年3月期第2四半期 225,263,592株 平成22年3月期 225,263,592株
 ② 期末自己株式数 平成23年3月期第2四半期 10,634,614株 平成22年3月期 10,633,763株
 ③ 期中平均株式数 (四半期累計) 平成23年3月期第2四半期 214,629,337株 平成22年3月期第2四半期 214,632,162株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する説明

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成23年3月期の業績予想については、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確実な要素を含んでおります。

従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより業績予想と乖離する結果になりうることをご承知おき下さい。

なお、上記予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の6ページを参照願います。

(参考) 平成23年3月期の個別業績予想 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(注) 売上高、営業利益等における%表示は、対前期増減率であります。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	530,000 (15.4)	17,000 (110.4)	29,000 (55.9)	24,000 (47.1)	111 82

(注) 当四半期における個別業績予想の修正有無 : 有

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成23年3月期の業績予想については、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより業績予想と乖離する結果になりうることをご承知おき下さい。
なお、上記予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の6ページを参照願います。

〔 添付資料の目次 〕

1. 経営成績及び財政状態	
(1) 経営成績	P. 2
(2) 財政状態	P. 5
(3) 業績見通し	P. 6
2. その他	
(1) 当四半期中における重要な子会社の異動	P. 8
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 8
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更	P. 8
3. 四半期連結財務諸表等	
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 9
(2) 四半期連結損益計算書	P. 11
(3) 四半期連結包括利益計算書	P. 13
(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 15
(5) 継続企業の前提に関する注記	P. 16
(6) セグメント情報	P. 16
(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 17
4. その他の情報	
(1) 業績等の概況	P. 18
(2) 業績等の予想	P. 19
(3) 連結受注及び販売の状況	P. 20
(4) 連結四半期推移	P. 23

1. 経営成績及び財政状態 (自 平成 22 年 4 月 1 日 至 平成 22 年 9 月 30 日)

(1) 経営成績

① 全体概況

当第2四半期連結累計期間の世界の電子機器市場は、中国をはじめとする新興国市場での需要拡大や先進国市場での景気回復とそれに伴う高機能な電子機器の需要の高まりにより、引き続き好調に推移しました。当社が属する電子部品市場においては、携帯電話向けは、中国、インドといった新興国での新規加入者数の増加による端末台数の増加に加え、部品搭載点数の多いスマートフォン人気により、部品需要が大きく伸びました。また、ノートPCの新プラットフォームやLEDテレビといった部品の搭載点数の多い電子機器の立ち上がりやタブレットPCなどの新しい無線端末の登場により、部品需要は堅調に推移しました。

このような市場環境のもと、当社は、需要の拡大に対応して、休日稼働などで高い操業度を維持するとともに、生産性の改善や設備投資により生産能力の拡充を進め、売上の拡大に努めました。また、製品価格の下落や厳しさを増す同業他社との競争に対しては、生産性改善などのコストダウンを実行し、収益体質の強化を図りました。

② 連結業績概況

これらの結果、当社の当第2四半期連結累計期間の業績は、以下の通りとなりました。

(単位：百万円)

期 別 科 目	前第2四半期 連結累計期間 (平成21年4月1日～平成21年9月30日)		当第2四半期 連結累計期間 (平成22年4月1日～平成22年9月30日)		増 減	
	金 額	百 分 比	金 額	百 分 比	金 額	増 減 率
売 上 高	255,595	100.0	314,989	100.0	59,394	23.2
営 業 利 益	6,100	2.4	46,256	14.7	40,156	658.3
税引前四半期純利益	7,751	3.0	47,462	15.1	39,711	512.3
四 半 期 純 利 益	4,743	1.9	31,066	9.9	26,323	555.0
対米ドル平均為替レート(円)	95.49	—	88.95	—	△6.54	—
対ユーロ平均為替レート(円)	133.16	—	113.84	—	△19.32	—

売上高は、前年同四半期連結累計期間に比べ23.2%増の314,989百万円となりました。利益につきましては、製品価格の下落や、為替が前年同四半期連結累計期間に比べ対米ドルの平均レートで6円54銭の円高となったことなどの減益要因はありましたが、操業度益とコストダウンにより、営業利益は46,256百万円(前年同四半期連結累計期間比7.6倍)、税引前四半期純利益は47,462百万円(同6.1倍)、四半期純利益は31,066百万円(同6.5倍)といずれも大幅な増益となりました。

売上高営業利益率は、前年同四半期連結累計期間の 2.4%から、当第2四半期連結累計期間では 14.7%と大きく改善しました。

当第2四半期連結会計期間と当第1四半期連結会計期間との比較においては、売上高は 5.0%増加しました。利益につきましては、操業度の上昇とコストダウンなどの増益効果が、円高（当第1四半期連結会計期間に比べ対米ドルの平均レートで6円15銭の円高）や製品価格の下落などの減益要因を補い、営業利益は当第1四半期連結会計期間比 15.2%増、税引前四半期純利益は同 3.9%増、四半期純利益は同 0.9%増といずれも増益となりました。売上高営業利益率は、当第1四半期連結会計期間の 14.0%から、当第2四半期連結会計期間では 15.3%とさらに改善しました。

(単位：百万円)

期 別 科 目	当第1四半期 連結会計期間 (平成22年4月1日～平成22年6月30日)		当第2四半期 連結会計期間 (平成22年7月1日～平成22年9月30日)		増 減	
	金 額	百 分 比	金 額	百 分 比	金 額	増 減 率
売 上 高	153,672	100.0	161,317	100.0	7,645	5.0
営 業 利 益	21,494	14.0	24,762	15.3	3,268	15.2
税 引 前 四 半 期 純 利 益	23,275	15.1	24,187	15.0	912	3.9
四 半 期 純 利 益	15,464	10.1	15,602	9.7	138	0.9
対米ドル平均為替レート(円)	92.02	—	85.87	—	△6.15	—
対ユーロ平均為替レート(円)	117.00	—	110.68	—	△6.32	—

③ 製品別の売上高概況

当第2四半期連結累計期間の製品別の売上高を前年同四半期連結累計期間と比較した概況は、以下の通りです。

(単位：百万円)

期 別 製 品 別	前第2四半期 連結累計期間 (平成21年4月1日～平成21年9月30日)		当第2四半期 連結累計期間 (平成22年4月1日～平成22年9月30日)		増 減	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	増 減 率
コ ン デ ン サ	83,094	32.6	114,172	36.4	31,078	37.4
圧 電 製 品	39,175	15.4	46,017	14.7	6,842	17.5
その他コンポーネント	46,420	18.2	60,335	19.2	13,915	30.0
コンポーネント計	168,689	66.2	220,524	70.3	51,835	30.7
通 信 モ ジ ュ ー ル	64,499	25.3	65,898	21.0	1,399	2.2
その他モジュール	21,476	8.5	27,427	8.7	5,951	27.7
モジュール計	85,975	33.8	93,325	29.7	7,350	8.5
製 品 売 上 高 計	254,664	100.0	313,849	100.0	59,185	23.2

<コンポーネント>

当第2四半期連結累計期間のコンポーネントの売上高は、前年同四半期連結累計期間に比べ 30.7%増の 220,524 百万円となりました。

〔コンデンサ〕

この区分には、積層セラミックコンデンサなどが含まれます。

主力のチップ積層セラミックコンデンサは、主要な電子機器の生産台数の増加と電子機器1台当たりの搭載点数の増加、小型・大容量化の進展による品種構成の良化により、数量、金額ともに大幅な増加となりました。用途特化型品は、コンピュータ及び関連機器向けで、パソコン市場の拡大から数量ベースでは増加となりましたが、値下がりや品種構成の変化による平均単価下落の影響が大きく、金額ベースでは大きく減少しました。

その結果、全体の売上高は、前年同四半期連結累計期間に比べ37.4%増の114,172百万円となりました。

〔圧電製品〕

この区分には、表面波フィルタ、セラミック発振子、圧電センサ、セラミックフィルタ、圧電スピーカなどが含まれます。

表面波フィルタは、携帯電話やデータカードの生産台数の増加とマルチバンド化による搭載点数の増加により、数量、金額ともに大きく増加しました。セラミック発振子は、主力のカーエレクトロニクス向けを含む全ての用途で大幅に増加しました。圧電センサは、ハードディスクドライブの衝撃検知用センサとバックソナー向けの超音波センサが大きな伸びとなりました。セラミックフィルタは、カーナビゲーション・システムなどのカーエレクトロニクス向けや通信機器向けを中心に、大きく増加しました。ディーゼルエンジンの燃料噴射用アクチュエータは、欧州の自動車市場向けで、大幅に増加しました。圧電スピーカは、携帯メディアプレイヤー向けで大幅に減少しました。

その結果、全体の売上高は、前年同四半期連結累計期間に比べ17.5%増の46,017百万円となりました。

〔その他コンポーネント〕

この区分には、EMI除去フィルタ、コイル、サーミスタ、コネクタ、センサ、アイソレータなどが含まれます。

EMI除去フィルタは、主要な電子機器の生産台数の増加に伴い、通信機器向け、コンピュータ及び関連機器向け、カーエレクトロニクス向けを中心に大きく増加しました。コイル、コネクタは、携帯電話向けで、大幅に増加しました。サーミスタは、家電向け、スマートフォン向け、ノートPC向けで大きく伸びました。ジャイロセンサは、玩具向けとカーナビゲーション・システム向けが大幅な増加となりました。アイソレータは、主な用途である携帯電話向けが振るいませんでした。

その結果、全体の売上高は、前年同四半期連結累計期間に比べ30.0%増の60,335百万円となりました。

＜モジュール＞

当第2四半期連結累計期間のモジュールの売上高は、前年同四半期連結累計期間に比べ8.5%増の93,325百万円となりました。

〔通信モジュール〕

この区分には、近距離無線通信モジュール、多層デバイス、回路モジュールなどが含まれます。近距離無線通信モジュールのうち、無線LANモジュールはスマートフォン向けを中心に大きく増加しました。多層デバイス、回路モジュールは、携帯電話向けが振るいませんでした。その結果、全体の売上高は、前年同四半期連結累計期間に比べ2.2%増の65,898百万円となりました。

〔その他モジュール〕

この区分には、電源などが含まれます。電源は、プリンタやコピー機といった事務機器向けを中心に、大幅な増加となりました。その結果、全体の売上高は、前年同四半期連結累計期間に比べ27.7%増の27,427百万円となりました。

(2) 財政状態

当第2四半期連結会計期間末は、前連結会計年度末に比べ、手元流動性（現金及び預金、短期投資、売却可能有価証券（政府債及び民間債）、長期性預金）が17,284百万円増加の378,126百万円となり、売掛金が好調な売上により13,968百万円増加の123,910百万円、たな卸資産が11,125百万円増加の100,341百万円となりました。その結果、当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ34,220百万円増加し、963,010百万円となりました。株主資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.8ポイント低下の84.4%となりました。

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況と、前年同四半期連結累計期間に対する各キャッシュ・フローの増減状況は以下の通りです。

(単位：百万円)

区 分	期 別	前第2四半期 連結累計期間 (平成21年4月1日～平成21年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (平成22年4月1日～平成22年9月30日)	増 減
		金額	金額	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー		37,536	47,794	10,258
投資活動によるキャッシュ・フロー		△22,142	△79,079	△56,937
財務活動によるキャッシュ・フロー		△11,907	△7,378	4,529
換 算 レ ー ト 変 動 に よ る 影 響		234	△1,878	△2,112
現金及び現金同等物の増加（△減少）額		3,721	△40,541	△44,262

＜営業活動によるキャッシュ・フロー＞

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、キャッシュ・フローの源泉となる四半期純利益が31,066百万円、減価償却費が29,412百万円に対して、売上債権の増加が20,357百万円となったことなどにより、47,794百万円のキャッシュ・インとなりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期連結累計期間に比べ10,258百万円の増加となりました。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券及び投資項目の償還及び売却が24,048百万円となりましたが、余資運用の増加に伴い有価証券及び投資項目の購入が69,872百万円、設備投資が20,845百万円となったことなどにより、79,079百万円のキャッシュ・アウトとなりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期連結累計期間に比べ56,937百万円の減少となりました。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いが7,512百万円となったことなどにより、7,378百万円のキャッシュ・アウトとなりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期連結累計期間に比べ4,529百万円の増加となりました。

(3) 業績見通し

平成23年3月期の業績見通しにつきましては、平成22年7月に公表した見通しを、以下の通り修正いたします。

通 期		連 結		個 別	
		平成22年7月29日 公表予想	修正予想	平成22年7月29日 公表予想	修正予想
売 上 高	百万円	605,000	615,000	510,000	530,000
営 業 利 益	(%) 百万円	(11.7) 71,000	(12.7) 78,000	(3.4) 17,200	(3.2) 17,000
税引前当期純利益・ 経常利益(注)1	(%) 百万円	(12.7) 77,000	(13.2) 81,000	(5.7) 29,200	(5.5) 29,000
当 期 純 利 益	(%) 百万円	(8.6) 52,000	(8.6) 53,000	(4.5) 23,000	(4.5) 24,000
設 備 投 資	百万円	45,000	52,000	8,500	9,000

- (注) 1. 連結は税引前当期純利益、個別は経常利益であります。
2. 営業利益、税引前当期純利益・経常利益、当期純利益の上段()書は、売上高比であります。
3. 修正予想の当下半期の為替レートは、1米ドル=82円、1ユーロ=110円を想定しております。

当期の世界の電子機器市場における主要な機器の生産台数は、PCと薄型テレビで期初予想からの下方修正を見込むものの、当社のメイン市場である携帯電話は好調であり、全体としても、前期からの拡大基調に変化はないと予想しています。当社としては、電子機器の生産台数の増加と部品搭載点数の増加による需要拡大の継続が見込まれること、依然として高水準な受注残高を抱えていることから、下半期においても、引き続き高い操業度を維持していく予定です。その結果、円高による目減り分を考慮しても、平成22年7月に公表した業績見通しを上回る見込みです。

前提となる当下半期の為替レートは、1米ドル=82円、1ユーロ=110円を想定しております。

なお、今後も新興国需要の拡大や電子機器の高機能化に伴う部品搭載点数の増加が期待できることから、電子部品需要の拡大に対応していくため、平成23年3月期の設備投資を平成22年7月に公表した45,000百万円から52,000百万円に上方修正いたします。

〔注意事項〕

当発表資料に記載されている、当社又は当社グループに関する見通し、計画、方針、戦略、予定、判断などのうち確定した事実でない記載は、将来の業績に関する見通しです。将来の業績の見通しは、現時点で入手可能な情報と合理的と判断する一定の前提に基づき当社グループが予測したものです。実際の業績は、さまざまなリスク要因や不確実な要素により業績見通しと大きく異なる可能性があり、これらの業績見通しに過度に依存しないようお願いいたします。また、新たな情報、将来の現象、その他の結果に関わらず、当社が業績見通しを常に見直すとは限りません。実際の業績に影響を与えるリスク要因や不確実な要素には、以下のものが含まれます。(1)当社の事業を取り巻く経済情勢、電子機器及び電子部品の市場動向、需給環境、価格変動、(2)原材料等の価格変動及び供給不足、(3)為替レートの変動、(4)変化の激しい電子部品市場の技術革新に対応できる新製品を安定的に提供し、顧客が満足できる製品やサービスを当社グループが設計、開発し続けていく能力、(5)当社グループが保有する金融資産の時価の変動、(6)各国における法規制、諸制度及び社会情勢などの当社グループの事業運営に係る環境の急激な変化、(7)偶発事象の発生、などです。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

2. その他

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科 目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成22年9月30日)		前連結会計年度末 (平成22年3月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
(資 産 の 部)	(963,010)	(100.0)	(928,790)	(100.0)
流 動 資 産	402,390	41.8	388,141	41.8
現金及び預金	49,537		66,688	
短期投資	47,075		63,986	
有価証券	52,148		32,793	
受取手形	1,927		2,088	
売掛金	123,910		109,942	
貸倒引当金	△1,078		△1,021	
たな卸資産	100,341		89,216	
繰延税金資産	19,220		17,378	
前払費用及び その他の流動資産	9,310		7,071	
有 形 固 定 資 産	277,664	28.8	285,265	30.7
土 地	43,981		43,829	
建物及び構築物	271,515		272,070	
機械装置及び 工具器具備品	576,832		570,701	
建設仮勘定	12,749		12,162	
減価償却累計額	△627,413		△613,497	
投 資 及 び そ の 他 の 資 産	282,956	29.4	255,384	27.5
投 資	233,319		207,958	
繰延税金資産	8,548		9,654	
その他の固定資産	41,089		37,772	
合 計	963,010	100.0	928,790	100.0

(単位：百万円)

期 別 科 目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成22年9月30日)		前連結会計年度末 (平成22年3月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
(負 債 の 部)	(150,349)	(15.6)	(127,933)	(13.8)
流動負債	99,917	10.4	78,746	8.5
短期借入金	5,225		5,476	
支払手形	306		777	
買掛金	33,107		28,861	
未払給与及び賞与	23,329		20,351	
未払税金	16,812		3,226	
未払費用及び その他の流動負債	21,138		20,055	
固定負債	50,432	5.2	49,187	5.3
退職給付引当金	47,878		46,496	
繰延税金負債	1,340		1,812	
その他の固定負債	1,214		879	
(資 本 の 部)	(812,661)	(84.4)	(800,857)	(86.2)
資本金	69,377		69,377	
資本剰余金	102,388		102,388	
利益剰余金	722,167		698,613	
その他の包括損失 累計額	△33,193		△21,447	
有価証券未実現損益	2,722		3,132	
年金負債調整勘定	2,957		3,167	
デリバティブ未実現損益	56		△300	
為替換算調整勘定	△38,928		△27,446	
自己株式(取得原価)	△48,078		△48,074	
合 計	963,010	100.0	928,790	100.0

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 (平成21年4月1日～平成21年9月30日)		当第2四半期 連結累計期間 (平成22年4月1日～平成22年9月30日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比
期 別		%		%
売 上 高	255,595	100.0	314,989	100.0
売 上 原 価	188,553	73.8	206,019	65.4
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	40,244	15.7	42,465	13.5
研 究 開 発 費	20,698	8.1	20,249	6.4
営 業 利 益	6,100	2.4	46,256	14.7
受 取 利 息 及 び 配 当 金	1,558	0.6	1,995	0.6
支 払 利 息	△35	△0.0	△20	△0.0
為 替 差 損	△1,920	△0.8	△896	△0.3
そ の 他 (純 額)	2,048	0.8	127	0.1
税 引 前 四 半 期 純 利 益	7,751	3.0	47,462	15.1
法 人 税 等	3,008	1.1	16,396	5.2
(法人税、住民税及び事業税)	(2,532)		(17,405)	
(法人税等調整額)	(476)		(△1,009)	
四 半 期 純 利 益	4,743	1.9	31,066	9.9

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

期 別 科 目	前第2四半期 連結会計期間 (平成21年7月1日～平成21年9月30日)		当第2四半期 連結会計期間 (平成22年7月1日～平成22年9月30日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比
売 上 高	138,088	100.0	161,317	100.0
売 上 原 価	97,239	70.4	104,919	65.0
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	20,537	14.9	21,216	13.2
研 究 開 発 費	10,437	7.5	10,420	6.5
営 業 利 益	9,875	7.2	24,762	15.3
受 取 利 息 及 び 配 当 金	737	0.5	987	0.6
支 払 利 息	△16	△0.0	△11	△0.0
為 替 差 損 益	494	0.4	△1,878	△1.1
そ の 他 (純 額)	1,725	1.2	327	0.2
税 引 前 四 半 期 純 利 益	12,815	9.3	24,187	15.0
法 人 税 等	4,405	3.2	8,585	5.3
(法人税、住民税及び事業税)	(1,436)		(11,400)	
(法人税等調整額)	(2,969)		(△2,815)	
四 半 期 純 利 益	8,410	6.1	15,602	9.7

(3) 四半期連結包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

期 別 科 目	前第2四半期 連結累計期間 (平成21年4月1日～平成21年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (平成22年4月1日～平成22年9月30日)
四 半 期 純 利 益	4,743	31,066
その他の包括利益(△損失)		
有価証券未実現損益	1,966	△410
年金負債調整額	2,314	△210
デリバティブ未実現損益	1,631	356
為替換算調整額	△3,405	△11,482
その他の包括利益(△損失)計	2,506	△11,746
包 括 利 益	7,249	19,320

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

期 別 科 目	前第2四半期 連結会計期間 (平成21年7月1日～平成21年9月30日)	当第2四半期 連結会計期間 (平成22年7月1日～平成22年9月30日)
四 半 期 純 利 益	8,410	15,602
その他の包括利益(△損失)		
有価証券未実現損益	△51	211
年金負債調整額	288	△111
デリバティブ未実現損益	571	△378
為替換算調整額	△6,525	△2,548
その他の包括損失計	△5,717	△2,826
包 括 利 益	2,693	12,776

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

項 目	期 別		当第2四半期	
	前第2四半期 連結累計期間 (平成21年4月1日～平成21年9月30日)		連結累計期間 (平成22年4月1日～平成22年9月30日)	
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
1. 四半期純利益		4,743		31,066
2. 営業活動によるキャッシュ・フローと 四半期純利益の調整				
(1) 減価償却費	33,538		29,412	
(2) 有形固定資産除売却損益	△280		103	
(3) 退職給付引当金繰入額(支払額控除後)	2,086		1,078	
(4) 法人税等調整額	476		△1,009	
(5) 資産及び負債項目の増減				
売上債権の増加	△30,923		△20,357	
たな卸資産の減少(△増加)	5,690		△13,394	
前払費用及びその他の流動資産の減少(△増加)	13,891		△2,083	
支払手形及び買掛金の増加	7,132		4,126	
未払給与及び賞与の増加	1,177		3,079	
未払税金の増加	1,027		13,702	
未払費用及びその他の流動負債の増加(△減少)	△736		2,353	
その他(純額)	△285		△282	
営業活動によるキャッシュ・フロー合計		37,536		47,794
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
1. 有形固定資産の取得	△10,658		△20,845	
2. 有価証券及び投資項目の購入	△65,612		△69,872	
3. 有価証券及び投資項目の償還及び売却	47,637		24,048	
4. 短期投資の減少(△増加)	4,882		△6,479	
5. その他	1,609		△5,931	
投資活動によるキャッシュ・フロー合計		△22,142		△79,079
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
1. 短期借入金の増加(△減少)	△1,099		204	
2. 支払配当金	△10,732		△7,512	
3. その他	△76		△70	
財務活動によるキャッシュ・フロー合計		△11,907		△7,378
IV 換算レート変動による影響		234		△1,878
現金及び現金同等物の増加(△減少)額		3,721		△40,541
現金及び現金同等物の期首残高		117,502		108,777
現金及び現金同等物の四半期末残高		121,223		68,236
現金及び現金同等物の追記				
現金及び預金		53,629		49,537
短期投資		85,296		47,075
3か月を超える短期投資		△17,702		△28,376
現金及び現金同等物の四半期末残高		121,223		68,236

(参考)

(単位：百万円)

項 目	期 別	
	前第2四半期 連結会計期間末 (平成21年9月30日)	当第2四半期 連結会計期間末 (平成22年9月30日)
現金及び現金同等物の四半期末残高	121,223	68,236
3か月を超える短期投資	17,702	28,376
売却可能有価証券(政府債及び民間債)	182,546	275,514
長期性預金	-	6,000
手元流動性	321,471	378,126

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社グループは、電子部品並びにその関連製品の開発及び製造販売を主たる事業として行っております。

当社グループの事業セグメントは、製品の性質に基づいて区分されており、「コンポーネント」及び「モジュール」の2つの事業セグメント並びに「その他」に分類されます。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

		前第2四半期 連結会計期間 (平成21年7月1日～平成21年9月30日)		当第2四半期 連結会計期間 (平成22年7月1日～平成22年9月30日)	
		金額	百分比	金額	百分比
コンポーネント	売上高		%		%
	(1) 外部顧客に対する売上高	91,242		113,257	
	(2) セグメント間の内部売上高	3,362		2,610	
	計	94,604	100.0	115,867	100.0
	事業利益	15,555	16.4	28,316	24.4
モジュール	売上高		%		%
	(1) 外部顧客に対する売上高	46,354		47,465	
	(2) セグメント間の内部売上高	177		124	
	計	46,531	100.0	47,589	100.0
	事業利益	1,573	3.4	4,138	8.7
その他	売上高		%		%
	(1) 外部顧客に対する売上高	492		595	
	(2) セグメント間の内部売上高	2,077		5,797	
	計	2,569	100.0	6,392	100.0
	事業利益	76	3.0	473	7.4
消去又は本社部門	売上高		%		%
	(1) 外部顧客に対する売上高	-		-	
	(2) セグメント間の内部売上高	△5,616		△8,531	
	計	△5,616	-	△8,531	-
	本社部門費	△7,329	-	△8,165	-
連結	売上高		%		%
	(1) 外部顧客に対する売上高	138,088		161,317	
	(2) セグメント間の内部売上高	-		-	
	計	138,088	100.0	161,317	100.0
	営業利益	9,875	7.2	24,762	15.3

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

		前第2四半期 連結累計期間 (平成21年4月1日～平成21年9月30日)		当第2四半期 連結累計期間 (平成22年4月1日～平成22年9月30日)	
		金額	百分比	金額	百分比
		コンポーネント	売上高		%
	(1) 外部顧客に対する売上高	168,689		220,524	
	(2) セグメント間の内部売上高	6,443		5,298	
	計	175,132	100.0	225,822	100.0
	事業利益	18,982	10.8	53,807	23.8
モジュール	売上高		%		%
	(1) 外部顧客に対する売上高	85,975		93,325	
	(2) セグメント間の内部売上高	342		298	
	計	86,317	100.0	93,623	100.0
	事業利益	1,931	2.2	8,052	8.6
その他	売上高		%		%
	(1) 外部顧客に対する売上高	931		1,140	
	(2) セグメント間の内部売上高	3,905		10,820	
	計	4,836	100.0	11,960	100.0
	事業利益(△損失)	△32	△0.7	1,093	9.1
消去又は本社部門	売上高		%		%
	(1) 外部顧客に対する売上高	-		-	
	(2) セグメント間の内部売上高	△10,690		△16,416	
	計	△10,690	-	△16,416	-
	本社部門費	△14,781	-	△16,696	-
連結	売上高		%		%
	(1) 外部顧客に対する売上高	255,595		314,989	
	(2) セグメント間の内部売上高	-		-	
	計	255,595	100.0	314,989	100.0
	営業利益	6,100	2.4	46,256	14.7

- (注) 1. 各区分に属する主な製品又は事業
- (1) コンポーネント・・・コンデンサ、圧電製品など
 - (2) モジュール・・・通信モジュールなど
 - (3) その他・・・機器製作、従業員の福利厚生、人材派遣、教育訓練、ソフトウェアの販売など
2. セグメント間の内部取引は、市場の実勢価格に基づいております。
3. 「事業利益」は売上高から事業に直接帰属する費用を控除した利益であり、「本社部門費」は各セグメントに帰属しない全社的な管理部門の費用及び基礎研究費で構成されております。

(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. その他の情報

平成22年10月29日

株式会社 村田製作所 (証券コード: 6981)

http://www.murata.co.jp/

平成23年3月期 第2四半期決算概要

(1) 業績等の概況
＜第2四半期累計期間＞

		連 結			個 別		
		前第2四半期 連結累計期間 〔自平成21年4月1日 至平成21年9月30日〕	当第2四半期 連結累計期間 〔自平成22年4月1日 至平成22年9月30日〕	伸 率	前第2四半期 累計期間 〔自平成21年4月1日 至平成21年9月30日〕	当第2四半期 累計期間 〔自平成22年4月1日 至平成22年9月30日〕	伸 率
売 上 高	百万円	255,595	314,989	23.2	219,714	277,351	26.2
	(%)	(2.4)	(14.7)		(0.8)	(3.7)	
営 業 利 益	百万円	6,100	46,256	658.3	1,745	10,349	493.0
税引前四半期純利益・ 経 常 利 益 (注) 2	百万円	7,751	47,462	512.3	6,300	16,521	162.2
	(%)	(1.9)	(9.9)		(2.8)	(4.7)	
四 半 期 純 利 益	百万円	4,743	31,066	555.0	6,155	13,162	113.8
総 資 産	百万円	909,979	963,010	5.8	542,750	617,477	13.8
株 主 資 本 ・ 純 資 産 (注) 3	百万円	780,853	812,661	4.1	396,164	404,746	2.2
株 主 資 本 比 率 ・ 自 己 資 本 比 率 (注) 4	%	85.8	84.4	-	73.0	65.5	-
1株当たり四半期純利益	円	22.10	144.74	554.9	28.68	61.33	113.8
潜 在 株 式 調 整 後 1株当たり四半期純利益	円	22.10	144.74	554.9	-	-	-
1株当たり株主資本・ 1株当たり純資産 (注) 5	円	3,638.11	3,786.35	-	1,845.79	1,885.80	-
設 備 投 資	百万円	10,658	20,845	95.6	4,211	3,563	△15.4
	(%)	(13.1)	(9.3)		(4.3)	(3.5)	
減 価 償 却 費	百万円	33,538	29,412	△12.3	9,114	9,451	3.7
	(%)	(8.1)	(6.4)		(7.7)	(6.3)	
研 究 開 発 費	百万円	20,698	20,249	△2.2	16,561	17,050	3.0
	(%)	(11.140)	(12.987)				
従 業 員 数	人	33,574	35,203	4.9	6,916	6,954	0.5
平 均 為 替 レ ー ト (対 米 ド ル)	円	95.49	88.95	-			
(対 ユ ー ロ)	円	133.16	113.84	-			

＜第2四半期会計期間＞

		連 結			個 別		
		前第2四半期 連結会計期間 〔自平成21年7月1日 至平成21年9月30日〕	当第2四半期 連結会計期間 〔自平成22年7月1日 至平成22年9月30日〕	伸 率	前第2四半期 会計期間 〔自平成21年7月1日 至平成21年9月30日〕	当第2四半期 会計期間 〔自平成22年7月1日 至平成22年9月30日〕	伸 率
売 上 高	百万円	138,088	161,317	16.8	119,636	141,961	18.7
	(%)	(7.2)	(15.3)		(2.8)	(4.0)	
営 業 利 益	百万円	9,875	24,762	150.8	3,294	5,707	73.2
税引前四半期純利益・ 経 常 利 益 (注) 2	百万円	12,815	24,187	88.7	3,300	7,007	112.4
	(%)	(6.1)	(9.7)		(1.1)	(3.9)	
四 半 期 純 利 益	百万円	8,410	15,602	85.5	1,310	5,491	319.2
1株当たり四半期純利益	円	39.18	72.69	85.5	6.10	25.59	319.5
潜 在 株 式 調 整 後 1株当たり四半期純利益	円	39.18	72.69	85.5	-	-	-
設 備 投 資	百万円	5,245	12,304	134.6	2,343	2,049	△12.5
	(%)	(12.4)	(9.5)		(4.1)	(3.6)	
減 価 償 却 費	百万円	17,178	15,276	△11.1	4,756	4,889	2.8
	(%)	(7.5)	(6.5)		(7.1)	(6.3)	
研 究 開 発 費	百万円	10,437	10,420	△0.2	8,297	8,731	5.2

- (注) 1. 当社の連結財務諸表は、米国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して作成しております。
2. 連結は税引前四半期純利益、個別は経常利益であります。
3. 連結は株主資本、個別は純資産であります。
4. 連結は株主資本比率、個別は自己資本比率であります。
5. 連結は1株当たり株主資本、個別は1株当たり純資産であります。
6. 営業利益、税引前四半期純利益・経常利益、四半期純利益の上段()書は、売上高比であります。
7. 個別の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
8. 個別の減価償却費及び研究開発費の上段()書は、役員収益を除く売上高に対する割合であります。
9. 連結の従業員数の上段()書は、全従業員数のうち国外従業員数であります。

(2) 平成23年3月期(平成22年4月1日～平成23年3月31日)の業績等の予想

		連 結		個 別	
		平成23年3月期 第1四半期 決算発表時の予想	修正予想	平成23年3月期 第1四半期 決算発表時の予想	修正予想
売 上 高	百万円	605,000	615,000	510,000	530,000
	(%)	(11.7)	(12.7)	(3.4)	(3.2)
営 業 利 益	百万円	71,000	78,000	17,200	17,000
税引前当期純利益・ 経常利益(注)1	(%)	(12.7)	(13.2)	(5.7)	(5.5)
	百万円	77,000	81,000	29,200	29,000
当 期 純 利 益	(%)	(8.6)	(8.6)	(4.5)	(4.5)
	百万円	52,000	53,000	23,000	24,000
1株当たり当期純利益	円	242.28	246.94	107.16	111.82
設 備 投 資	百万円	45,000	52,000	8,500	9,000
減 価 償 却 費	(%)	(10.6)	(10.4)	(3.9)	(3.8)
	百万円	64,000	64,000	19,400	19,400
研 究 開 発 費	(%)	(6.8)	(6.7)	(6.9)	(6.6)
	百万円	41,000	41,000	34,000	34,000

- (注) 1. 連結は税引前当期純利益、個別は経常利益であります。
2. 営業利益、税引前当期純利益・経常利益、当期純利益の上段()書は、売上高比であります。
3. 個別の減価償却費及び研究開発費の上段()書は、役務収益を除く売上高に対する割合であります。
4. 修正予想については、当下半期の為替レートを、1米ドル=82円、1ユーロ=110円として算出しております。
5. 平成23年3月期の業績等の予想については、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより業績予想と乖離する結果になりうることをご承知おき下さい。なお、上記予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の6ページを参照願います。

(3) 連結受注及び販売の状況

①受注の状況

製品別の受注高は、下表のとおりであります。

<第2四半期連結累計期間>

(単位：百万円)

期 別 製品別	前第2四半期 連結累計期間 (平成21年4月1日～平成21年9月30日)		当第2四半期 連結累計期間 (平成22年4月1日～平成22年9月30日)		増 減	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	増 減 率
コ ン デ ン サ	94,934	34.1	113,462	35.8	18,528	19.5
圧 電 製 品	42,693	15.3	45,269	14.3	2,576	6.0
その他コンポーネント	49,981	18.0	60,550	19.1	10,569	21.1
コンポーネント計	187,608	67.4	219,281	69.2	31,673	16.9
通 信 モ ジ ュ ー ル	67,797	24.4	70,809	22.3	3,012	4.4
その他モジュール	22,947	8.2	26,983	8.5	4,036	17.6
モジュール計	90,744	32.6	97,792	30.8	7,048	7.8
計	278,352	100.0	317,073	100.0	38,721	13.9

<第2四半期連結会計期間>

(単位：百万円)

期 別 製品別	前第2四半期 連結会計期間 (平成21年7月1日～平成21年9月30日)		当第2四半期 連結会計期間 (平成22年7月1日～平成22年9月30日)		増 減	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	増 減 率
コ ン デ ン サ	49,319	34.0	53,069	34.6	3,750	7.6
圧 電 製 品	22,224	15.3	20,474	13.3	△1,750	△7.9
その他コンポーネント	26,620	18.4	29,096	19.0	2,476	9.3
コンポーネント計	98,163	67.7	102,639	66.9	4,476	4.6
通 信 モ ジ ュ ー ル	34,802	24.0	37,663	24.5	2,861	8.2
その他モジュール	11,926	8.3	13,210	8.6	1,284	10.8
モジュール計	46,728	32.3	50,873	33.1	4,145	8.9
計	144,891	100.0	153,512	100.0	8,621	5.9

- (注) 1. 金額は、販売価格で表示しております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3. 以下の製品別諸表については、主たる事業である電子部品並びにその関連製品の受注及び販売の状況を記載しております。

製品別の受注残高は、下表のとおりであります。

(単位：百万円)

期 別 製品別	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)		当第2四半期 連結会計期間末 (平成22年9月30日)		増 減	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	増 減 率
コ ン デ ン サ	29,983	41.9	29,273	39.1	△710	△2.4
圧 電 製 品	9,635	13.4	8,887	11.9	△748	△7.8
その他コンポーネント	12,754	17.8	12,969	17.3	215	1.7
コンポーネント計	52,372	73.1	51,129	68.3	△1,243	△2.4
通 信 モ ジ ュ ー ル	14,498	20.3	19,409	25.9	4,911	33.9
その他モジュール	4,746	6.6	4,302	5.8	△444	△9.4
モジュール計	19,244	26.9	23,711	31.7	4,467	23.2
計	71,616	100.0	74,840	100.0	3,224	4.5

- (注) 1. 金額は、販売価格で表示しております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②販売の状況

1. 製品別売上高

＜第2四半期連結累計期間＞

(単位：百万円)

期別 製品別	前第2四半期 連結累計期間 (平成21年4月1日～平成21年9月30日)		当第2四半期 連結累計期間 (平成22年4月1日～平成22年9月30日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
コンデンサ	83,094	32.6	114,172	36.4	31,078	37.4
圧電製品	39,175	15.4	46,017	14.7	6,842	17.5
その他コンポーネント	46,420	18.2	60,335	19.2	13,915	30.0
コンポーネント計	168,689	66.2	220,524	70.3	51,835	30.7
通信モジュール	64,499	25.3	65,898	21.0	1,399	2.2
その他モジュール	21,476	8.5	27,427	8.7	5,951	27.7
モジュール計	85,975	33.8	93,325	29.7	7,350	8.5
製品売上高計	254,664	100.0	313,849	100.0	59,185	23.2

＜第2四半期連結会計期間＞

(単位：百万円)

期別 製品別	前第2四半期 連結会計期間 (平成21年7月1日～平成21年9月30日)		当第2四半期 連結会計期間 (平成22年7月1日～平成22年9月30日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
コンデンサ	44,893	32.6	59,270	36.9	14,377	32.0
圧電製品	21,633	15.7	22,834	14.2	1,201	5.6
その他コンポーネント	24,716	18.0	31,153	19.4	6,437	26.0
コンポーネント計	91,242	66.3	113,257	70.5	22,015	24.1
通信モジュール	34,735	25.2	33,884	21.1	△851	△2.4
その他モジュール	11,619	8.5	13,581	8.4	1,962	16.9
モジュール計	46,354	33.7	47,465	29.5	1,111	2.4
製品売上高計	137,596	100.0	160,722	100.0	23,126	16.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 用途別売上高(当社推計値に基づいております)

＜第2四半期連結累計期間＞

(単位：百万円)

期別 用途別	前第2四半期 連結累計期間 (平成21年4月1日～平成21年9月30日)		当第2四半期 連結累計期間 (平成22年4月1日～平成22年9月30日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
A V	40,665	16.0	42,934	13.7	2,269	5.6
通信	115,195	45.2	132,529	42.2	17,334	15.0
コンピュータ及び関連機器	43,780	17.2	59,527	19.0	15,747	36.0
カーエレクトロニクス	29,277	11.5	39,482	12.6	10,205	34.9
家電・その他	25,747	10.1	39,377	12.5	13,630	52.9
製品売上高計	254,664	100.0	313,849	100.0	59,185	23.2

＜第2四半期連結会計期間＞

(単位：百万円)

期別 用途別	前第2四半期 連結会計期間 (平成21年7月1日～平成21年9月30日)		当第2四半期 連結会計期間 (平成22年7月1日～平成22年9月30日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
A V	24,696	18.0	22,769	14.2	△1,927	△7.8
通信	60,112	43.7	68,635	42.7	8,523	14.2
コンピュータ及び関連機器	23,538	17.1	29,537	18.4	5,999	25.5
カーエレクトロニクス	16,664	12.1	19,946	12.4	3,282	19.7
家電・その他	12,586	9.1	19,835	12.3	7,249	57.6
製品売上高計	137,596	100.0	160,722	100.0	23,126	16.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 地域別売上高

<第2四半期連結累計期間>

(単位:百万円)

期別 地域別	前第2四半期 連結累計期間 (平成21年4月1日～平成21年9月30日)		当第2四半期 連結累計期間 (平成22年4月1日～平成22年9月30日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
		%		%		%
南北アメリカ	16,953	6.6	25,082	8.0	8,129	48.0
ヨーロッパ	25,438	10.0	35,517	11.3	10,079	39.6
中華圏	116,936	45.9	150,276	47.9	33,340	28.5
アジア・その他	46,485	18.3	53,992	17.2	7,507	16.1
海外計	205,812	80.8	264,867	84.4	59,055	28.7
日本	48,852	19.2	48,982	15.6	130	0.3
製品売上高計	254,664	100.0	313,849	100.0	59,185	23.2

<第2四半期連結会計期間>

(単位:百万円)

期別 地域別	前第2四半期 連結会計期間 (平成21年7月1日～平成21年9月30日)		当第2四半期 連結会計期間 (平成22年7月1日～平成22年9月30日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
		%		%		%
南北アメリカ	9,171	6.7	12,719	7.9	3,548	38.7
ヨーロッパ	13,502	9.8	18,063	11.3	4,561	33.8
中華圏	64,795	47.1	78,760	49.0	13,965	21.6
アジア・その他	25,098	18.2	27,028	16.8	1,930	7.7
海外計	112,566	81.8	136,570	85.0	24,004	21.3
日本	25,030	18.2	24,152	15.0	△878	△3.5
製品売上高計	137,596	100.0	160,722	100.0	23,126	16.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(4) 連結四半期推移

①連結経営成績

(単位：百万円)

期別 項目	前第1四半期 連結会計期間 (平成21年4月1日 ～平成21年6月30日)		前第2四半期 連結会計期間 (平成21年7月1日 ～平成21年9月30日)		前第3四半期 連結会計期間 (平成21年10月1日 ～平成21年12月31日)		前第4四半期 連結会計期間 (平成22年1月1日 ～平成22年3月31日)	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比
売上高	117,507	100.0	138,088	100.0	139,906	100.0	135,318	100.0
営業利益(△損失)	△3,775	△3.2	9,875	7.2	11,300	8.1	9,330	6.9
税引前四半期純利益(△損失)	△5,064	△4.3	12,815	9.3	15,316	10.9	11,591	8.6
四半期純利益(△損失)	△3,667	△3.1	8,410	6.1	9,292	6.6	10,722	7.9

期別 項目	当第1四半期 連結会計期間 (平成22年4月1日 ～平成22年6月30日)		当第2四半期 連結会計期間 (平成22年7月1日 ～平成22年9月30日)	
	金額	百分比	金額	百分比
売上高	153,672	100.0	161,317	100.0
営業利益	21,494	14.0	24,762	15.3
税引前四半期純利益	23,275	15.1	24,187	15.0
四半期純利益	15,464	10.1	15,602	9.7

②製品別売上高

(単位：百万円)

期別 製品別	前第1四半期 連結会計期間 (平成21年4月1日 ～平成21年6月30日)		前第2四半期 連結会計期間 (平成21年7月1日 ～平成21年9月30日)		前第3四半期 連結会計期間 (平成21年10月1日 ～平成21年12月31日)		前第4四半期 連結会計期間 (平成22年1月1日 ～平成22年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
コンデンサ	38,201	32.6	44,893	32.6	47,784	34.3	47,999	35.6
圧電製品	17,542	15.0	21,633	15.7	21,715	15.6	21,380	15.9
その他コンポーネント	21,704	18.6	24,716	18.0	25,746	18.4	26,056	19.3
コンポーネント計	77,447	66.2	91,242	66.3	95,245	68.3	95,435	70.8
通信モジュール	29,764	25.4	34,735	25.2	31,635	22.7	26,922	20.0
その他モジュール	9,857	8.4	11,619	8.5	12,491	9.0	12,421	9.2
モジュール計	39,621	33.8	46,354	33.7	44,126	31.7	39,343	29.2
製品売上高計	117,068	100.0	137,596	100.0	139,371	100.0	134,778	100.0

期別 製品別	当第1四半期 連結会計期間 (平成22年4月1日 ～平成22年6月30日)		当第2四半期 連結会計期間 (平成22年7月1日 ～平成22年9月30日)	
	金額	構成比	金額	構成比
コンデンサ	54,902	35.9	59,270	36.9
圧電製品	23,183	15.1	22,834	14.2
その他コンポーネント	29,182	19.1	31,153	19.4
コンポーネント計	107,267	70.1	113,257	70.5
通信モジュール	32,014	20.9	33,884	21.1
その他モジュール	13,846	9.0	13,581	8.4
モジュール計	45,860	29.9	47,465	29.5
製品売上高計	153,127	100.0	160,722	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。